



平成 27 年 2 月 6 日

各 位

会 社 名 木 徳 神 糧 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 平 山 惇  
( コ ー ド 番 号 : 2 7 0 0 )  
問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員  
管 理 部 門 長 稲 垣 英 樹  
電 話 番 号 0 3 - 5 6 3 6 - 1 5 0 1

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 26 年 8 月 5 日に公表した平成 26 年 12 月期（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）の連結業績予想（以下前回発表予想）を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 通期連結業績予想数値の修正（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1 株 当 たり 連 結 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	109,000	760	740	340	40.08
今回発表予想 (B)	106,000	1,100	1,080	680	80.16
増減額 (B - A)	△3,000	340	340	340	
増減率 (%)	△2.8	44.7	45.9	100.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 12 月期)	115,547	△912	△930	△546	△64.46

#### 2. 修正理由

通期連結業績予想については、米穀事業における精米の販売数量は増加したものの、販売単価が予想以上に下落したことや玄米の販売数量が低調であったこと等により、売上高は前回発表予想を下回る見通しです。

また、営業利益と経常利益については、主力の米穀事業における販売、製造、仕入の連携強化を図りながら、精米販売の増加による利益の拡大、稼働率の向上による製造コストの削減、仕入手法の多様化、在庫の最適化による販売費用の抑制等に注力し、予想以上の成果が得られたため、前回発表予想を大幅に上回る見通しです。

さらに、当期純利益については、惣菜加工工場の閉鎖による特別損失の発生がありましたが、営業利益等の拡大により前回発表予想を上回る見通しです。

以上

(注) 本業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、様々な要因の変化により実際の業績とは大きく異なる場合があります。さらに業績に影響が生じる場合は、判明次第お知らせいたします。